

# 日本共産党 えんど久子など 大分県と話し合い

## 県民の暮らしを守れ



### 来年度予算について要望

日本共産党の猿渡（えんど）久子は、別府市議4期16年の経験を活かしていつそうみなさんのお役にたきたいと今年4月の県議選に挑戦しましたが、次点に終わりました。4年後は必ず県議にと決意しています。今後ともよろしく願います。

えんど久子は、県下の日本共産党議員や団体代表、日本共産党の堤栄三県議（大分市選出）や竹内よしひろ市議とともに、10月29日大分県と交渉を行いました。事前に提出していた

284項目の来年度予算要望について文書回答を受け、話し合ったものです。この交渉は毎年行っています。

発言する堤栄三県議  
大分県庁にて  
2015. 10. 29.

### 原発再稼働中止を求めよ

伊方原発の再稼働中止を国や愛媛県に求めることという要望について、大分県は「他のエネルギーで賄うには安定供給上の課題がある」「重点区域に準じた原子力災害対策をしっかりと進めている」などという回答です。最短で45キロの距離にある大分県として再稼働中止を求める姿勢がありません。

えんど久子は「県民の安全を守るのが県の仕事だ。大規模災害が予測される中で県民の安全に対する課題の方がはるかに大きく、再稼働中止を求めるべきだ」と強く主張しました。県知事にその姿勢がないことが問題です。



「国の言いなりでなく県民の立場でがんばるべきだ」と訴えるえんど久子。後ろは竹内よしひろ市議。県庁にて10時～16時まで各課と話し合いました。

2015. 10. 29.

県議をめざすえんど久子の  
日本共産党県政ニュース

発行責任者 えんど久子  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No. 3  
2015.11.12.

# 県が動かなければ実現は難しい 教員増員や医療費無料化充実を

## 実態を訴え教育の充実求める

子どもの医療費は中学生まで通院も無料に、と県に要望。県は「現物給付とするなど充実した内容だ。国の制度とするよう求めている」と回答。えんど久子は「不安定雇用が4割と増えている。別府市は低所得者が多く、必要性が高いが財政が厳しい。県が実施すべきだ。『喘息で継続的に通院しているが1回4000円もかかる』という声も寄せられている」と、迫りました。

また、えんど久子らは、30人学級の拡大、教員の定数増、スクールソーシャルワーカーの配置、児童クラブの保育料減免を、などについて、実態の深刻さを訴え、実現を強く求めました。今後とも実現までみなさんとご一緒にがんばります。

### 他にも多くのことを求めました

- ・佐賀関と四国を結ぶ豊予海峡ルートは中止すること。
  - ・東九州新幹線に予算を使うよりも路線バスの維持などのための助成増額を。
  - ・マイナンバーは情報漏えいなどリスクがあり、実施しないよう国に求めること。
  - ・児童相談所の職員を増員すること。
  - ・住宅リフォーム助成制度や商店版住宅リフォーム助成制度を創設すること。
  - 年金引き下げをやめるよう国に求めること。
- など284項目

# 戦争法は廃止！ えんど久子もがんばります



田村たかあき衆議院議員と。右から2番目がえんど久子。

今年の夏は、えんど久子も「戦争法案を廃案にとがんばりました。大分市での集会に参加したり、別府市での集会の実行委員会事務局長などとして3回の集会を準備したり、街頭から訴えたり、と奮闘しました。

強行可決されましたが、戦争法の廃止めざして今後ともみなさんとご一緒にがんばります。